

2011年度 早稲田大学大学院教職研究科入学試験

(一般入試(第一次日程):筆記試験(教職教養))

問題用紙

注意事項

1. 問題冊子および解答用紙は、試験開始の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は、2～4ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 受験番号および氏名は、試験が開始されてから、解答用紙の所定欄に正確に記入すること。なお、解答用紙が複数枚ある場合には、それぞれの所定欄に正確に記入すること。
受験番号は以下の例のとおり、数字で記入すること。

(例) 11001 番 ⇒

万	千	百	十	一
1	1	0	0	1

4. 解答はすべて解答用紙の所定欄にHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
5. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答を止め、筆記具を置くこと。終了の指示に従わずに解答を続けた場合は、答案の全てを無効とするので注意すること。
6. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。
7. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

問1. 以下は、教育基本法（平成18年12月22日法律120号）第14条「政治教育」と第15条「宗教教育」に関する条文である。（ア）～（コ）にあてはまる適切な語句をそれぞれ解答欄に書きなさい。

- ①良識ある（ア）として必要な（イ）は、教育上尊重されなければならない。
- ②法律に定める学校は、特定の（ウ）を支持し、又はこれに反対するための（エ）その他（オ）をしてはならない。
- ③宗教に関する（カ）の態度、宗教に関する一般的な（キ）及び宗教の社会生活における（ク）は、教育上尊重されなければならない。
- ④国及び地方公共団体が設置する学校は、特定の宗教のための（ケ）その他（コ）をしてはならない。

問2. ①～⑤の【 】内の語句に関する説明文として、誤っているものを一つ選び解答欄に書きなさい。

- ①【寺子屋】江戸時代に発展した庶民の教育機関であり、教材として『実語教』や「往来物」などを用いるところが多かった。寺子屋では女兒も学んでいた。
- ②【一斉教授法】「学制」の下の小学校で新たに導入された教授法で、江戸時代の寺子屋の個人教授法とは大きく異なるものであった。明治初期には、掛図を用いた「庶物指教」と呼ばれる教授法も行われた。
- ③【森有礼】初代文部大臣として、1886（明治19）年に小学校令・中学校令・師範学校令等の制定に尽くした。また、森は小学校などに検定教科書制度も導入した。
- ④【「教育ニ関スル勅語」】1890年（明治23）年に天皇制国家における国民思想の在り方を示すものとして発布された。戦前日本の教育理念として重大な位置付けにあり、戦後の教育基本法にもその精神が引き継がれた。
- ⑤【大正新教育（自由教育）運動】教師中心の教育から児童中心の教育へ転換をはかったり、児童の個性尊重、自発的、創造的な活動を重視する世界的な教育運動の潮流に乗り、日本でも第一次世界大戦後に新教育運動が展開された。沢柳政太郎による成城小学校は、その代表的な学校の一つである。

問3. 次の①から⑤は、近代日本の教育の歴史に関する事項を組み合わせたものである。組み合わせとして誤っているものを一つ選び解答欄に書きなさい。

- ①ペスタロッチ主義 = 五段階教授法
- ②国民学校令 = 1941年制定
- ③6年制義務教育の法的確立 = 1907年
- ④自由画教育 = 山本鼎
- ⑤小学校の国定教科書の使用開始 = 1904年

問4. (A) (B) (C) は誰の言葉か。該当する解答欄にア～カの記号を書きなさい。

- (A) 「玉座の上にあっても木の葉の屋根の陰に住んでいても同じ人間である。」
(B) 「学校は小型の共同体、胎芽的な社会となる。」
(C) 「初期の教育は消極的でなければならない。」

ア. ヘルバルト	イ. ルソー	ウ. ロック	エ. デューイ
オ. ペスタロッチ	カ. カント		

問5. 以下の3つの問いについて、それぞれあてはまる記号を解答欄に書きなさい。

- ①動物のある行動が、心理学的に見て下等な精神機能によるものとして解釈することができるならば、これをそれより高等な精神機能の働いた結果として解釈してはいけないと言う主張

a) こころの理論	b) モーガンの公準	c) 高次脳機能	d) メツガーの法則
e) 二次的思考			

- ②エリクソンによる心理的発達課題において、学齢期（小学校）の課題および獲得に失敗した場合の状態は、次のどれになるか記号で答えなさい。

a) 自主性と罪悪感	b) 基本的信頼と不信	c) 勤勉性と劣等感
d) 自律性と恥、疑惑	e) 集団への所属と孤立	

- ③小学校3年生の教室で行動観察をしていたら、黒板の字を書き写すのが遅い児童がいました。一文字一文字見ては、書き写しています。授業中の先生の質問には手をあげて積極的に答えますし、内容も適切です。音読もみんなと同じスピードでできます。ノートを見ると、行からはみ出していたり、黒板の「すごします」が「すごます」と文字が抜けていたりしますが、そばで、黒板の字を読んであげると字の大きさは不ぞろいですが、スピードがあがりました。A君には、どの力が不足していますか。

a) 聴覚的理解	b) 視覚的理解	c) 目と手の協応	d) 聴覚と視覚の変換
e) 音声発話			

問6. 次の①から⑤の文章で誤っているものを一つ選び解答欄に書きなさい。

- ①1946年に連合国総司令部から国民学校教科書の不適当な箇所を削除・修正する指令が出され、子どもはその箇所に墨を塗るなどした。これは当時、「墨塗り教科書」と呼ばれた。
②最初の「学習指導要領」は1947年に「試案」として発行されたが、告示として示されるようになったのは1958年の「学習指導要領」からであった。
③公選制の教育委員会が任命制にかわったのは、1956年制定の教育委員会法によってであった。
④義務教育諸学校の教科書の無償化は、1963年度から年次計画で行われた。
⑤教育刷新委員会は1946年に設置され、ここでの議論をもとにして教育基本法・学校教育法などが制定された。

問7. 以下の(A)～(D)のそれぞれの領域について、いずれかの用語を選び、その意味を解答欄に書きなさい。なお、解答用紙の該当欄に、選んだ用語をそれぞれ記入すること。

領域 (A)

- オープンエンド
- ドルトン・プラン

領域 (B)

- 新制中学校の意義
- 教育職員免許法 (1949年制定)

領域 (C)

- 学校評価
- 教員による違法な懲戒と教員の負う責任

領域 (D)

- 可逆的思考
- 向社会的判断力